

社員の方にご覧いただけるよう掲示・回覧いただきますようお願い致します。

回 覧 印													
-------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

コムス倶楽部通信

VOL337
2023/7月号

★ 窓口取扱いチケットのご案内 ★

◎ご利用の際は、コムス倶楽部窓口で『会員証』をご提示の上、お買い求め下さい。

☆ 映画鑑賞券 (TOHOシネマズ、T・ジョイ京都)

プレミア会員 1枚 1,000円 一般会員 1枚 1,200円

☆ ガソリンチケット (1冊券 100枚綴・税込) ※令和5年7月1日より

※モリカワ商事(株)のサービスステーション(府内11箇所)で利用できるチケットです。

ハイオク 1冊 18,350円 レギュラー 1冊 17,250円

☆ 展覧会チケット (◎はチケットの取り扱い期日)

◇ 少女たち〔京都文化博物館〕7月15日～9月10日 ◎会期前日まで

販売価格	一般	1,210円	大高生	750円	中小生	280円
当日価格		1,500円		1,000円		500円

◇ 超絶技巧、未来へ!〔あべのハルカス美術館〕7月1日～9月3日 ◎会期終了まで

販売価格	一般	1,260円	大高生	900円	中小生	270円
当日価格		1,600円		1,200円		500円

◇ 絶体絶命!?キミたちのサバイバル〔大阪南港 ATC ホール〕7月22日～9月3日 ◎会期終了まで

販売価格	一般	1,490円	3歳～中学生	660円
当日価格		1,800円		900円

◇ ルーブル美術館展〔京都市京セラ美術館〕6月27日～9月24日 ◎会期終了まで

販売価格	一般	1,770円	高大生	1,210円	小中生	750円
当日価格		2,100円		1,500円		1,000円

◇ 走泥社再考〔京都国立近代美術館〕7月19日～9月24日 ◎会期終了まで

販売価格	一般	1,400円	大学生	840円	高校生	380円
当日価格		1,700円		1,100円		600円

コムス倶楽部 <月～金曜日 午前9時～午後5時>

〒600-8009 京都市下京区四条通室町東入函谷鉾町78番地

京都経済センター6階 京都織物卸商業組合内

TEL:075-353-1010 FAX:075-353-1013

織商HP <https://www.fashion-kyoto.or.jp/>

Facebook <https://www.facebook.com/koms.orisyo>

MASTERPIECES DISCOVERED BY THE HOSHINO GALLERY
WOMEN BETWEEN
HOPE AND FEARS

発掘された珠玉の名品 少女たち——夢と希望・そのはざままで 星野画廊コレクションより 2023.7.15[sat]-9.10[sun] 京都文化博物館



発掘された珠玉の名品

少女たち

——夢と希望・そのはざままで 星野画廊コレクションより

2023年
7/15 (土)
▼
9/10 (日)

開室時間：午前10時～午後6時(金曜日は午後7時30分まで)※入場はそれぞれ閉室の30分前まで / 休館日：月曜日(ただし、7月17日、24日は開館)、7月18日
観覧料：一般1500(1300)円、大高生1000(800)円、中小生500(300)円 ※すべて税込 ※()内は前売り及び20名以上の団体料金
※前売券は5月16日から7月14日まで販売 / 主催 京都府、京都文化博物館、産経新聞社、関西テレビ放送、京都新聞 / 後援 京都市、京都府教育委員会、京都市教育委員会、公益社団法人京都市観光連盟、公益社団法人京都市観光協会、KBS京都、エフエム京都 / 企画協力 青幻舎プロモーション

THE MUSEUM OF KYOTO
京都文化博物館
〒604-8183 京都市中京区三条高倉
TEL.075-222-0888 www.bunpaku.or.jp

岡本神草《夢の舞妓》(部分) 1922年頃



粥川伸二《娘》1928年

小籠に抱えている書物は聖書でしょうか。このモダンガールを描いた粥川伸二は、長崎をテーマにした日本画を多く描きました。



田代正子《娘》1940年

養生塚とは豊田秀吉が養子秀次を自害させ、妻妾、子供を処刑して三条河原に埋めた事件。描かれているのは処刑される直前の呆然とした女性の姿です。

作者の笠木治郎吉は横浜で活動した画家で、長年「謎の画家」とされてきましたが、近年の研究の進展とともに光が当てられ、再び注目が集まっています。



笠木治郎吉《花を摘む少女》1897-1912年頃



太田喜二郎《花摘図》1911-1912年頃



中西利雄《赤いスカーフ》1938年



幸田暁治《双子》1970年



甲斐荘楠音《養生塚の女》1919年頃



秦テララ《淵に佇めば》1917年

モデルの女性は画家・太田喜二郎留学中の下宿先のお嬢さんで、服飾関係の仕事に就くことを目指していたそうです。明るい光に溢れた油絵です。



作者不詳《柳江《夏苑の少女》1912-1925年頃

関連イベント

①トーク会 要申込

「石を磨く——星野桂三さんのお話を聞く」

話者：星野桂三氏（星野画廊）
聞き手：関純子（関西テレビ放送アナウンサー）、植田彩芳子（当館主任学芸員）
日時：7月16日（日）10:30～12:00
会場：3階フィルムシアター（定員150名）
参加費：無料（ただし、本展入場券[半券可]が必要）

②夏休み 親子でアート鑑賞 要申込

「自分だけの名品を見つけよう！」

親子で展示を鑑賞し、気に入った作品一点を選び、感想を語り合おう。
対象（目安）：小学校3年生以上
※必ず保護者同伴でご参加ください。※保護者の方が連名でお申し込みください。
日時：7月23日（日）13:00～15:00
場所：6階展示室（定員15組30名）
参加費：無料（ただし、本展入場券[半券可]が必要）

③シンポジウム 要申込

「近代京都絵画史研究を振り返る：京都、むかしがたり」（共催：明治美術学会）

[第1部] 講演「京都の近代日本画再評価と星野画廊」
講師：上箇四郎氏（笠岡市立竹斎美術館 前館長）
[第2部] 座談会：上箇四郎氏、榊原吉郎氏（京都市立芸術大学名誉教授）
原田平作氏（大阪大学名誉教授）、星野桂三氏、司会：植田彩芳子
日時：2023年8月5日（土）13:30～17:00
会場：別館ホール（定員200名）
参加費：無料（ただし、本展入場券[半券可]が必要）

④ワークショップ 要申込

「貼り絵でオリジナルうちわを作ろう！」

日時：2023年8月11日（金・祝）
①10:30～12:00 ②13:30～15:00
場所：別館 2階講義室（定員各回20名）
参加費：700円（材料費・税込）
※ほか、本展入場券[半券可]が必要です。

⑤星野桂三さんによるギャラリートーク

日時：7月21日（金）、8月4日（金）、18日（金）、9月1日（金）
17:00から展示室内で行います。
※参加費および事前申込み不要。当日の入場者に限ります。

①②③④の申込み方法

先着順。定員に達し次第終了。1名ごとにお申込みください。
②親子でアート鑑賞については、1組ごとにお申込みください。

往復はぎに住所、氏名（返信面にも）、電話番号、希望イベント名・番号を明記し、京都文化博物館「少女たち展関連イベント」係へ。または、京都文化博物館HP。右記QRコードからお申込みください。
https://www.bunpaku.or.jp/exhi_special/form/

6月1日（木）より受付開始



特別展イベント
申込フォーム

集まれ、少女たち！

明治、大正、昭和……。時代のうねりの中で、いつしか忘れられてしまった実力ある画家たち。本展では、彼（女）らが遺した素晴らしい作品を見つけ出し、紹介してきた星野画廊のコレクションから、「少女たち」をテーマに紹介します。女性たちの人生のさまざまな描かれた日本画と洋画、約120点を展示しますので、作品の放つ魅力を存分にお楽しみください。

観覧料 / 全て税込

一般	1,500円(1,300円)
大高生	1,000円(800円)
中小生	500円(300円)

※（）内は前売券、及び20名以上の団体料金です。*お得な前売券は2023年5月15日（月）～7月14日（金）までの販売（会期中は当日券のみ）。

※未就学児は無料（ただし、保護者同伴）。*学生料金で入場の際には学生証をご提示ください。
※障がい者手帳などをご提示の方につき添い1名までは無料。
※上記料金で2階総合展示と3階フィルムシアターもご覧いただけます。（ただし催事により有料の場合があります。）

[主な入場券販売所] 京都文化博物館、公式オンラインチケット、ローンチケット（Lコード：59500）、チケットぴあ（Pコード：686-386）、セブンチケット（セブンコード：099-278）、イープラスほか



京都文化博物館
〒604-8183 京都市中京区三条高倉
TEL.075-222-0888 www.bunpaku.or.jp

※感染症等今後の状況により、掲載内容が変更になる場合があります。最新情報は展覧会公式サイトなどでご確認ください。



■地下鉄[烏丸御池駅]下車、6番出口から三条通を東へ徒歩約3分
■阪急[烏丸駅]下車、16番出口から高倉通を北へ徒歩約7分
■京阪[三条駅]下車、6番出口から三条通を西へ徒歩約15分
■市バス[堺町御池]下車、徒歩約2分

《拳の舞妓》の刻印入り！ 本展オリジナルグッズ 祇園・原了郭の黒七味

・画像はイメージです。
・他にも多数のオリジナルグッズを用意しております。



音声ガイド、その他イベント・コラボグッズについては
決定次第公式サイトにてお知らせいたします。

展覧会公式サイト

<https://www.ktv.jp/event/shoujyotachi/>



超絶技巧、未来へ！

明治工芸とそのDNA

かめば
かむほど、
驚異的。

じつは
木彫！



In the Genes,
Taking Marvelous Meiji
Craftsmanship
into the Future

2023

7/1_{Sat} → 9/3_{Sun}

【開館時間】火～金 / 10:00～20:00、
月土日祝 / 10:00～18:00 ※入館は閉館30分前まで

【休館日】7月5日(月)

【主催】あべのハルカス美術館、毎日新聞社、MBSテレビ

【協賛】大和ハウス工業 【協力】清水三年坂美術館

【監修】山下裕二(明治学院大学教授) 【企画協力】広瀬麻美(浅野研究所)



あべのハルカス美術館
ABENO HARUKAS ART MUSEUM

2019年、当館で開催した「驚異の超絶技巧! 明治工芸から現代アートへ」展では、子どもから大人まで多くの方々に、人の手が生み出す驚異の手わざをお楽しみいただきました。本展はその発展形として、明治工芸のDNAを受け継ぎつつ新たな領域に挑む現代作家の新作を中心にをご紹介します。木、金属、陶磁、漆、ガラス、紙など、さまざまな素材によって展開される意欲的な作品の数々は、日々進化し続ける超絶技巧の未来を指し示しています。そのルーツとなる明治工芸の逸品とともに、驚きと感動にあふれた超絶技巧の魅力を、今回もぜひご体感ください。

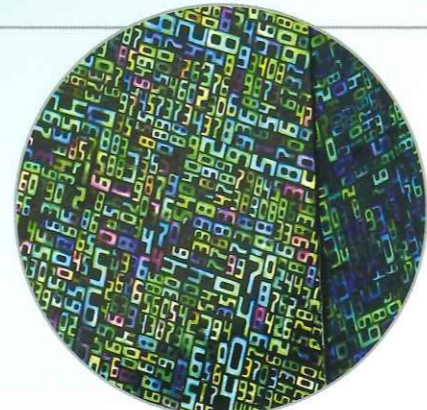
【木彫】

大竹亮峯 (1989年生まれ)

《月光》

2020年
鹿角、神代樺、楓、榿、
チタン合金

真夜中に咲くミステリアスな花、
月下美人。
木と鹿角でできたこの花にも、
実は秘密が…!?



池田晃将 (1987年生まれ)

《百千金字塔香合》

2022年 漆、木曾檜、鮑貝、金

宇宙と交信する謎のピラミッド!?
デジタル数字と
伝統技術のクールな融合。

【漆工】



【木彫】

福田 亨 (1994年生まれ)

《吸水》(部分)

2022年
黒檀、黒柿、柿、真弓、朴、苦木、柳、ペロパローサ

水滴に憩う優雅な蝶の姿に隠された、
驚異の技「立体木象嵌」とは!?



【金工】

ここからチェック!



本郷真也 (1984年生まれ)

《Visible01 境界》(部分)

2021年 鉄、赤銅、銀

リアルなのは、外見だけじゃない。
その体内には…!?

【陶磁】

稲崎栄利子
(1972年生まれ)

《Amrita》

2023年 陶土、磁土

やきもので、編みもの!?
自在に変化するかたちは、
まるで布のよう。



In the Genes, Taking Marvelous Meiji Craftsmanship into the Future

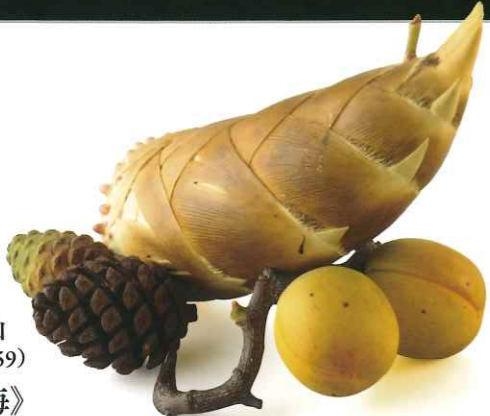
【牙彫】

安藤緑山
(1885-1959)

《松竹梅》

清水三年坂美術館蔵

読んで字のごとく、象牙の彫刻。
彫りも彩色も極めた名工の、奇跡の逸品。



【漆工】

白山松哉 (1853-1923)

《四君子蔴絵文台・
料紙箱・硯箱》

清水三年坂美術館蔵

漆で文様を描き、金や銀の金属粉を蒔き
つける蔴絵技法による傑作。菊、竹など
の植物の気高さを君子にたとえる。



【金工】

信久 (1849-1926)

《鷹香炉》(部分)

清水三年坂美術館蔵

権威を象徴する鷹を香炉に。
色の異なる金属をはめ込んだ
羽根のディテールに注目!



【七宝】

並河靖之 (1845-1927)

《草花図花瓶》

清水三年坂美術館蔵

艶やかな黒を背景に、紅葉と季節の
花々を濃密にちりばめて。精緻な装飾
に秀でた並河七宝の大作。



ハルカス大学連携 スペシャル・トーク 「超絶技巧、最年長VS最年少!」

本展監修者の山下裕二氏とともに、出品作家のなかで最年長の前原冬樹氏(1962年生まれ)と最年少の福田亨氏(1994年生まれ)が、超絶技巧のいま、そして未来について熱いトークを繰り広げます。

7月1日(土) 14:00~15:30 (13:30開場)

【出演】山下裕二氏(本展監修者、明治学院大学教授)
前原冬樹氏(本展出品作家、木彫)
福田亨氏(本展出品作家、木彫)

【会場】あべのハルカス23階セミナールーム
(17階からエレベーターにお乗りください)

【定員】70名(事前申込制、先着順)
※聴講は無料ですが本展観覧券(半券可)が必要となります。

お申し込みは4月22日(土)10:00より
ハルカス大学webサイト、お電話、もしくはハルカス大学受付(あべのハルカス23階キャンパスフロア)にて承ります。
定員になり次第締め切ります。

※オンライン配信(無料、事前申込制、先着順)も実施します。詳細はハルカス大学webサイトにてご確認ください。



山下裕二氏



前原冬樹氏



福田亨氏

【ハルカス大学】
webサイト: <http://harudai.jp/>
電話: 06-6622-4815

ギャラリートーク & デモンストレーション 「大竹亮峯、花を咲かせる!」 本郷真也、龍を動かす!」

作家の大竹亮峯氏(1989年生まれ)と本郷真也氏(1984年生まれ)のふたりが、それぞれの制作の秘密を明かすとともに、作品の驚きの仕掛けを実演!

8月5日(土) ① 18:00~19:00
② 19:30~20:30

※チケットはイベント参加券と観覧券の2枚組。
観覧券はイベント当日に限らず会期中であればいつでもご利用可能です。

【出演】大竹亮峯氏(本展出品作家、木彫)
本郷真也氏(本展出品作家、金工)

【会場】あべのハルカス美術館展示室

【定員】各回30名

【参加料】3,000円(税込・観覧料込)

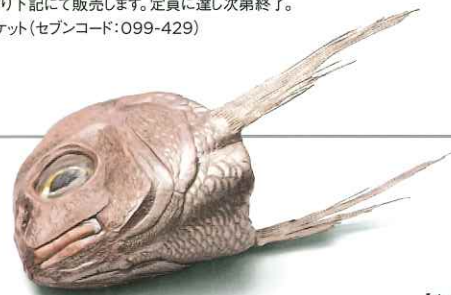
チケットは4月22日(土)より下記にて販売します。定員に達し次第終了。
【チケット販売所】セブンチケット(セブンコード:099-429)



大竹亮峯氏



本郷真也氏



【金工】
吉田泰一郎(1989年生まれ)
〈組〉2021年 銅、銀メッキ、七宝

フォトイベント「撮らNIGHT! 映えNIGHT!」

7月のフライデー・ナイトは美術館で撮影ぞんまい!

通常は限られたエリアでのみ可能な作品撮影を、エリア制限なく自由に楽しむことができるイベントです。

7月7日(金)、14日(金)、21日(金)、28日(金) 各日18:00~20:00 (入館は19:30まで)

※本展観覧券が必要となります。 ※18:00までは一部のエリアのみ撮影可能となります。
※ストロボ、三脚や自撮り棒などのご使用はご遠慮ください。 ※動画の撮影はご遠慮ください。

超絶おトク! チケット(日付指定券) 1枚 1,000円(税込)

7月1日(土)~7月31日(月)の期間限定の日付指定スペシャルチケット。4月1日(土)よりあべのハルカス美術館ホームページ(オンラインチケット)にて発売、先着1,000枚限定(おひとりにつき2枚まで購入可)。

こちらもおトク! 前売ペアチケット 一般2枚組 2,600円(税込)

販売期間:4月22日(土)~6月30日(金)
※おひとりでも2回に分けてのご使用も可能です。
※ペアチケットはローソンチケット、チケットぴあ、イープラス、セブンチケット、CNプレイガイドでの販売となります。

おやお割引

明治から現代へと受け継がれた超絶技巧にちなみ、親子、祖父母とお孫さんなどの複数世代でご来館された方はそれぞれ当日料金から100円引きとなります。(他割引との併用不可)

◎観覧料(税込)

	当日	前売・団体
一般	1,600円	1,400円
大高生	1,200円	1,000円
中小生	500円	300円

※前売券は4月22日(土)~6月30日(金)まで販売。 ※団体は15名様以上。 ※障がい者手帳をお持ちの方は、美術館チケットカウンターでご購入されたご本人と付き添いの方1名まで当日料金の半額。

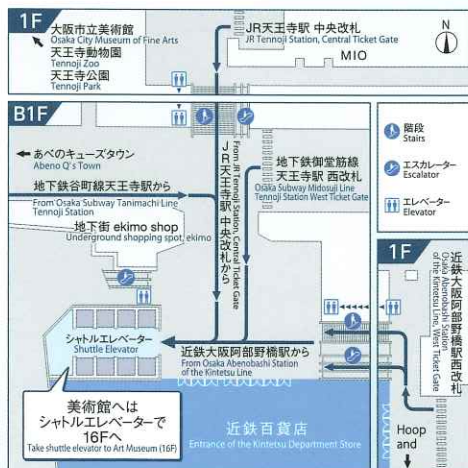
【チケット販売所】あべのハルカス美術館ミュージアムショップ(美術館開館日のみ)、あべのハルカス美術館ホームページ(オンラインチケット)、近鉄駅営業所、ローソンチケット(Lコード:56520)、チケットぴあ(Pコード:686-427)、セブンチケット(セブンコード:099-429)、イープラス、CNプレイガイド、楽天チケットなど。

福島アナの
コメント動画はこちら



MBS 福島アナが PR大使に就任!!

AIやロボットが、精巧な作品を作り始めていますが、私達の心を打つのは「人の手」から生まれたものです。研鑽を経たアーティストの手による宝物が、皆さんとのお会いを待っています!



【交通のご案内】

近鉄「大阪阿部野橋駅」、
JR・地下鉄「天王寺駅」、
阪堺上町線「天王寺駅前駅」下車すぐ。
※駐車場はございません。
公共交通機関をご利用ください。
あべのハルカス美術館へはシャトルエレベーター
【乗り口:地下1階または2階】をご利用ください。

あべのハルカス美術館
ABENO HARUKAS ART MUSEUM

〒545-6016 大阪市阿倍野区阿倍野筋1-1-43
あべのハルカス16階
【お問い合わせ】06-4399-9050



【木彫】
岩崎 努(1972年生まれ)
〈さくらんぼ〉
2021年
楓、水干絵具、胡粉、膠、漆

<https://www.aham.jp/>

開催内容の変更や入場制限等を行う場合があります。最新の情報は美術館公式HPをご確認ください。



大阪南港 大阪市住之江区南港北2-1-10
ATCホール

2023 7.22 土 ▶ 9.3 日
会期中無休

開館時間【最終入場は16時まで】 9:30~16:30

<お問い合わせ> キミたちのサバイバル!事務局

TEL.06-6615-5556

キミたちのサバイバル 検索



【主催】キミたちのサバイバル!実行委員会
【後援】大阪市、大阪市教育委員会、堺市教育委員会、大阪市私立保育連盟
【企画制作】ドリームスタジオ 【特別協力】朝日新聞出版

大人気
学習漫画

科学漫画サバイバルシリーズの 体験イベントがATCにやってくる!!

身近に起こりうる地震や台風などの災害、サファリ、ジャングルから南極、果ては宇宙まで
特殊な環境でのサバイバルを10個体験!最新のXR技術を駆使した展示も。さらにはサバイバル
科学知識、歴史上の偉人やヒーローのエピソードを紹介するコーナーなど学びのエリアも充実。

遊びながら
サバイバル能力を
身につけよう!

見どころ

1 ナイトサファリのサバイバル

人喰いワニや、
行く手を阻むようにそびえる巨大ゴリラが待ち構える!
ナイトサファリの動物たちと写真を撮ろう!



見どころ

2 新型ウイルスのサバイバル

新型ウイルスが迫りくるサバイバル!
ウイルスに触れずに進もう!



絶体
絶命!?

見どころ

3 飛行機のサバイバル

飛行機の脱出シューターを使って
飛行機からの緊急脱出に挑戦しよう!



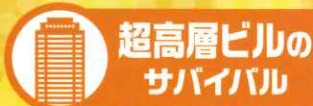
見どころ

4 昆虫世界のサバイバル (VR体験コーナー)

昆虫世界へ迷い込み、巨大昆虫が行く手を阻む!
ボールをあてて巨大昆虫を倒し、
森から脱出しよう!



他にもこんな
サバイバルが!



©Han Hyun-Dong/Mirae N/Ludens Media/朝日新聞出版

入場料(税込)	当日	前売・団体
一般	1,800円	1,600円
3歳~中学生	900円	700円

発売日 4月28日(金) 午前10時~

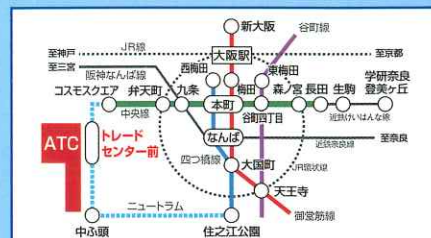
※2歳以下入場無料 ※障がい者手帳等を提示の方は本人及び
介助者1名まで半額(確認できるものをご提示ください)
※前売券の販売は7月21日(金)まで ※団体は20名以上。
アンビュール、「キミたちのサバイバル」オンラインチケット、イープラス、
ローソンチケット[Lコード:58300]、チケットぴあ[Pコード:944-158]、
セブンチケット[セブンコード:099-491]、CNプレイガイド ほか

大阪南港ATCホール

〒559-0034 大阪市住之江区南港北2-1-10

会場アクセス

- 梅田・本町・心斎橋・なんば方面からメトロ中央線「本町」
からコスモスクエア経由で約20分
- 新大阪駅方面から、メトロ御堂筋線「本町」で中央線に
乗り換えコスモスクエア経由で約40分
- 関西国際空港から、リムジンバスで約50分(ハイアット・
リージェンシー・大阪下車)
- 大阪国際空港から、大阪モノレール経由、メトロ御堂筋線
「本町」で中央線に乗り換えコスモスクエア経由で約60分



※感染症等今後の状況により、会期・開催時間など変更になる
場合があります。最新情報は公式サイトなどでご確認ください。



ルーヴルには
愛がある。

LOUVRE

ルーヴル美術館展 愛を描く

Peindre l'amour dans les collections du Louvre
Painting Love in the Louvre Collections

2023. 6.27^{TUE} — 9.24^{SUN} 京都市京セラ美術館 京都市左区 岡崎円勝寺町 124

●休館日=毎週月曜日 ※ただし7/17(月・祝)・9/18(月・祝)は開館 ●7/8(土)・7/9(日)・7/15(土)・7/16(日)は小学生無料観覧日 ●開館時間=10:00-18:00(入場は開場の60分前まで) ●予約優先制 ●主催=ルーヴル美術館/読売テレビ/読売新聞社/キョードー/京都市 ●後援=在日フランス大使館/アンスティチュ・フランセ日本 ●特別協賛=NOMURA ●協賛=大成建設/DNP大日本印刷 ●協力=日本航空/NX日本通運/FM802/FM COCOLO
●企画協力=NTVヨーロッパ ●お問合せ=京都市京セラ美術館 TEL:075-771-4334 ●展覧会HP=https://www.ytv.co.jp/love_louvre/ ●Twitter=@love_louvre2023
●料金=一般 2,100円(1,900円) 高大生 1,500円(1,300円) 小中学生 1,000円(800円) ※()は前売・団体料金※そのほか企画チケットあり ※未就学児無料 ※学生料金でご入場の際は学生証をご提示ください。 ※障がい者手帳等をお持ちの方(要証明)と同伴される介護者1名は無料。 ●取扱プレイガイド=チケットぴあ[Pコード:686-431]/セブンチケット/アンビュール!!/イープラス/ローソンチケット[Lコード:52185]/CNプレイガイド
●プレイガイド販売期間=9月24日(日) 15:00まで
フランソワ・ジュエール(アモルとプシュケ)、または(アモルの最初のキスを受けるプシュケ)(部分) 1798年 油彩/カンヴァス
Photo ©RMN-Grand Palais(musée du Louvre) / Tony Querec / distributed by AMF-DNP.com

LOUVRE

京都市京セラ美術館

本展は、政府による美術品補償制度の適用を受けています。文化庁 京都へ



ジャン＝オノレ・フラゴナール《かんぬき》1777-1778年頃 油彩/カンヴァス
Photo © RMN-Grand Palais (musée du Louvre) / Michel Urtado / distributed by AMF-DNPartcom



サミュエル・ファン・ホーホストラーテン《部屋履き》1655-1662年頃 油彩/カンヴァス
Photo © RMN-Grand Palais (musée du Louvre) / Michel Urtado / distributed by AMF-DNPartcom

アントワーヌ・ヴァトー《ニンフとサテュロス》1715-1716年頃 油彩/カンヴァス
Photo © RMN-Grand Palais (musée du Louvre) / Stéphane Maréchal / distributed by AMF-DNPartcom



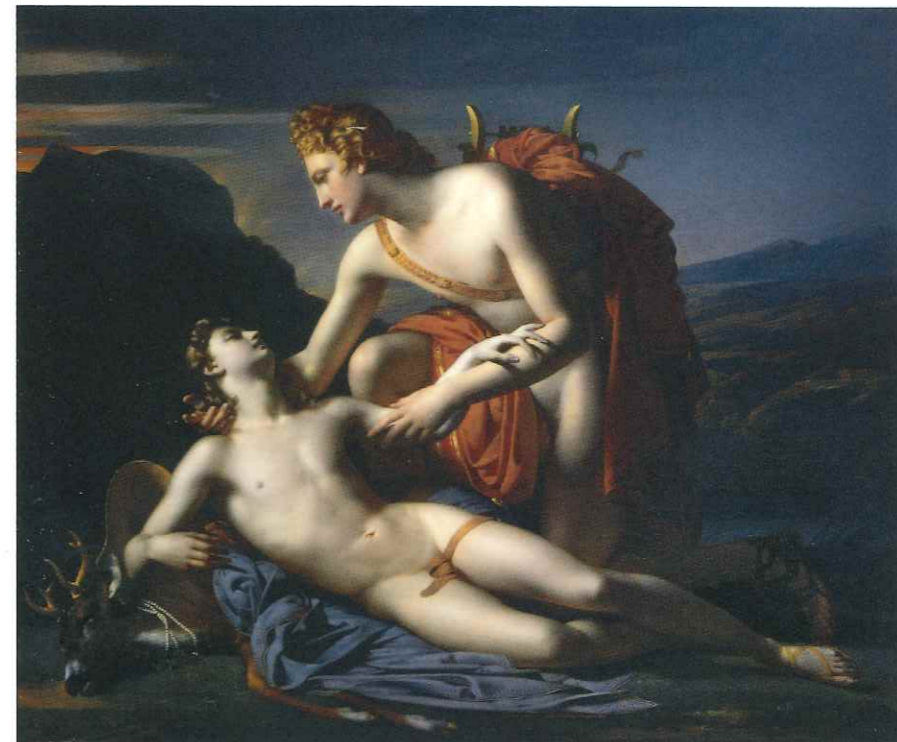
ザッツフェラート(本名 ジョヴァンニ・バッティスタ・サルヴィ)《眠る幼子イエス》1640-1685年頃 油彩/カンヴァス
Photo © RMN-Grand Palais (musée du Louvre) / Stéphane Maréchal / distributed by AMF-DNPartcom



ドメニケーノ(本名 ドメニコ・ザンピエーリ)《リナルドとアルミーダ》1617-1621年頃 油彩/カンヴァス
Photo © RMN-Grand Palais (musée du Louvre) / Martine Beck-Coppola / distributed by AMF-DNPartcom



アリ・シェフェール《ダンテとウェルギリウスの前に現れたフランチェスカ・ダ・リミニとパオロ・マラテスタの亡霊》1855年 油彩/カンヴァス
Photo © RMN-Grand Palais (musée du Louvre) / Michel Urtado / distributed by AMF-DNPartcom



クロード＝マリー・デュビュッフ《アポロンとキュバリッス》1821年 油彩/カンヴァス アヴィニョン、カルヴェ美術館
Photo © Avignon, musée Calvet



ウジェーヌ・ドラクワ《アビドスの花嫁》1852-1853年頃 油彩/カンヴァス
Photo © RMN-Grand Palais (musée du Louvre) / Franck Raux / distributed by AMF-DNPartcom

ルーヴルが誇る 珠玉の「愛」の絵画が一堂に!

人間の根源的な感情である「愛」は、古代以来、西洋美術の根幹をなすテーマの一つであったといえるでしょう。ギリシア・ローマ神話を題材とする神話画、現実の人間の日常生活を描く風俗画には、特別な誰かに恋焦がれる神々・人々の情熱や欲望、官能的な喜び、あるいは苦悩や悲しみが、様々なかたちで描かれています。一方、宗教画においては、神が人間に注ぐ無償の愛、そして人間が神に寄せる愛が、聖家族、キリストの磔刑、聖人の殉教といった主題を介して、信者たちに示されています。

本展では、西洋社会における様々な愛の概念が絵画芸術にどのように描出されてきたのか、ルーヴル美術館の膨大なコレクションから精選された73点の絵画を通して浮き彫りにします。16世紀から19世紀半ばまで、西洋各国の主要画家の名画によって愛の表現の諸相をひもとく、かつてない趣向の展覧会です。ぜひご期待ください。

チケット情報

※予約優先制となっております。当館ウェブサイトよりご来館の予約をお願いします。混雑時は、ご予約のない方はご入場をお待ちいただく場合があります。

観覧料(税込) Admission (tax included)

一般 2,100円(1,900円) 高大生 1,500円(1,300円) 小中学生 1,000円(800円)

※()は前売・団体料金※そのほか企画チケットあり ※未就学児無料 ※学生料金でご入場の際には学生証をご提示ください。 ※障がい者手帳等をお持ちの方(要証明)と同伴される介護者1名は無料。

京都展のオリジナルグッズ付チケット

【京友禅】おふき mini 付チケット

着物用の高度な技術「京友禅」で展覧会メインビジュアルを染めあげたスマホふき「おふきmini」。着物の染色職人が一点一点手作業で仕上げられています。この「おふき」は京都でしか販売しない特別なもの。今回展覧会とコラボ。源氏物語をイメージしたオリジナルデザインです。

販売価格=前売:2,780円(税込)/当日:2,980円(税込)
販売期間=2023年4月28日(金)10:00~
販売場所=セブンチケット

【お香】京都のお香付チケット

今から300年ほど前、京都で創業した松栄堂さんのコラボするお香は源氏物語に登場する愛に翻弄された男女をイメージした香り5種類のセット。
●光源氏 ●頭中将 ●夕霧 ●薫 ●匂宮
源氏物語は、友愛、親子愛、恋愛、情愛、神仏に対する愛など様々な愛が描かれています。愛を大切に、そして翻弄された彼らをイメージして制作します。

販売価格=前売:3,400円(税込)/当日:3,600円(税込)
販売期間=2023年4月28日(金)10:00~
販売場所=チケットぴあ



展示会の魅力を皆さんへお伝えします。
声優・森川智之さんの共演で音声ガイドも担当!



京都市京セラ美術館
Kyoto City KYOCERA Museum of Art

京都市左京区岡崎円勝寺町124
■アクセス
電 車: 地下鉄東西線「東山駅」から徒歩約8分、
京阪電車「三条駅」から徒歩約16分
市バス: 「岡崎公園 美術館・平安神宮前」下車すぐ
「岡崎公園 ロームシアター京都・みやこめっせ前」下車すぐ
■お問い合わせ
キーワード検索 TEL.0570-200-888
(月~土 11:00~16:00 ※日・祝休み)

ルーヴルには
愛がある。

LOUVRE

ルーヴル美術館展 愛を描く

Peindre l'amour dans les collections du Louvre
Painting Love in the Louvre Collections

2023. 6.27^土 — 9.24^日 京都市京セラ美術館 京都市左区 岡崎円勝寺町 124

● 休館日=毎週月曜日 ※ただし7/17(月・祝)・9/18(月・祝)は開館 ※7/8(土)・7/9(日)・7/15(土)・7/16(日)は小学生無料観覧日 ● 開館時間=10:00-18:00 (入場は開場の60分前まで) ● 予約優先制 ● 主催=ルーヴル美術館/読売テレビ/読売新聞社/キョードー/京都市 ● 後援=在日フランス大使館/アンスティチュ・フランセ日本 ● 特別協賛=NOMURA ● 協賛=大成建設/DNP大日本印刷 ● 協力=日本航空/NX日本通運/FM802/FM COCOLO ● 企画協力=NTVヨーロッパ ● お問合せ=京都市京セラ美術館 TEL:075-771-4334 ● 展覧会HP=https://www.ytv.co.jp/love_louvre/ ● Twitter=@love_louvre2023 ● 料金=一般 2,100円(1,900円) 高大生 1,500円(1,300円) 小中学生 1,000円(800円) ※ ()は前売・団体料金 ※ そのほか企画チケットあり ※ 本観覧無料 ※ 学生料金でご入場の際は学生証をご提示ください。 ※ 障がい者手帳等をお持ちの方(要証明)と同伴される介護者1名は無料。 ● 取扱プレイガイド=チケットぴあ[Pコード:686-431] / セブンチケット / アンビュール / イープラス / ローソンチケット[Lコード:52185] / CNプレイガイド ● プレイガイド販売期間=9月24日(日) 15:00まで

フランソワ・ブーシェ (アモルの標的) (部分) 1758年 油彩/カンヴァス
Photo ©RMN-Grand Palais (musée du Louvre) / Gérard Blot / distributed by AMF-DNPartcom

LOUVRE

京都市京セラ美術館

本展は、政府による美術品
補償制度の適用を受けています。

文化庁
京都へ

開館 60 周年記念

走泥社 再考

前衛陶器を生み出した時代

The Sodeisha Group: An Era Born Out of Avant-garde Ceramics

The National Museum of Modern Art, Kyoto

Sodeisha

July 19 - Sept 24, 2023



鈴木治
《クリスマス》
1949年
個人蔵

2023. 7.19(水) - 9.24(日)
京都国立近代美術館 [岡崎公園内]

開館時間: 午前10時~午後6時(金曜日は午後8時まで。*入館は閉館の30分前まで)
休館日: 月曜日(ただし、8月14日(月)、9月18日(月・祝)は開館)

主催: 京都国立近代美術館、京都新聞、関西テレビ放送

協賛: 一般財団法人京都陶磁器協会

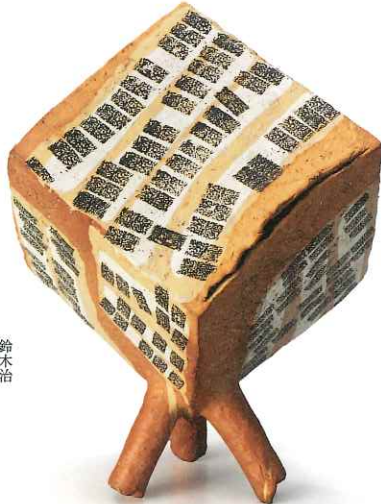
特別協力: 国立工芸館

展覧会公式HP <https://www.ktv.jp/event/sodeisha/>





熊倉順吉
《風人》67
1967年
京都国立近代美術館蔵



鈴木治
《作品》
1964年
個人蔵



山田光
《作品》
1957年
岐阜県美術館蔵



林康夫
《ホットケーキ》
1971年
和歌山県立近代美術館蔵



八木一夫
《ザムザ氏の散歩》
1954年
京都国立近代美術館蔵



森里忠男
《作品》
1953年
個人蔵



辻勘之
《KAO》
1965年
個人蔵

川上方三
《かたりべ》
1963年
ギャラリーヘルゲート蔵



京都国立近代美術館

The National Museum of Modern Art, Kyoto [岡崎公園内]

〒606-8344 京都市左京区岡崎円勝寺町
お問合せ:075-761-4111 美術館公式HP:<https://www.momak.go.jp/>
【アクセス】京都市バス「岡崎公園 美術館・平安宮前」下車すぐ、「岡崎公園 ロームシアター京都・みやこめっせ前」下車徒歩約5分、「東山二条・岡崎公園口」下車徒歩約10分◎地下鉄東西線「東山駅」下車徒歩約10分*当館には駐車場がございません。近隣の有料駐車施設をご利用ください。*岡崎公園駐車場をご利用の有料入館者は、駐車場の割引(1台につき1回)を受けられますので駐車券をお持ちの上お越しください。

その時、陶芸界に何が起こっていたのか

1948年に八木一夫、叶哲夫、山田光、松井美介、鈴木治の5人で結成された走泥社は、その後、会員の入れ替わりを経ながら50年間にわたり、日本の陶芸界を牽引してきました。走泥社という団体の功績について一言で述べるとすれば、いわゆる「オブジェ焼」を世間に認知させたということになります。

本展は走泥社の活動に焦点を当て、その意義や意味を再検証するものですが、50年という走泥社の活動期間全体を見渡した時、日本陶芸界におけるその重要性は特に前半期に認められます。というのも、1960年代半ば以降、例えば1964年の現代国際陶芸展を皮切りに海外の動向が日本でも紹介されるようになり、走泥社が時代の中で有していた「前衛性」は次第に相対化されていくからです。そこで本展では、走泥社結成25周年となる1973年までの主な対象とし、走泥社と同時期に前衛陶芸運動を展開した四耕会など走泥社以外の作家等も一部交えつつ、前衛陶芸が生まれた時代を振り返ります。

観覧料(税込) | 一般1,700円(1,500円)、大学生1,100円(900円)、高校生600円(400円)

前売特別ペアチケット | 一般2枚2,800円

※()内は前売および20名以上の団体(団体鑑賞の場合は事前に美術館にお問合せください)
※中学生以下、母子・父子家庭の世帯員の方、心身に障害のある方とその付添者1名は無料(入館の際に証明できるものをご提示ください)
※本料金でコレクション展もご覧いただけます ※前売券は6月1日(木)~7月18日(火)までの限定販売
《チケット販売場所》美術館オンラインチケット、公式オンラインチケット、チケットぴあ(Pコード:994-191)、ローソンチケット(Lコード:58500)、セブンチケット(セブンコード:100-026)、イープラスほか主要プレイガイド、コンビニエンスストア、アソビュー!など(チケット購入時に手数料がかかる場合があります)

【関連イベント】記念講演会「走泥社おちこち余話」
◎講師=太田垣 實氏(美術評論家) ◎日時=7月29日(土)14時~15時30分 ◎会場=京都国立近代美術館1階講堂
※参加無料 ※定員80名、先着順、会期中の観覧券が必要 ※詳細・最新情報やこの他のイベントについては展覧会公式ホームページにてご案内いたします

神宮丸太町駅		平安神宮	丸太町通
冷泉通	若狭見館	ロームシアター京都	岡崎公園駐車場
御池通	みやこめっせ	京都国立近代美術館	二条通 京都市動物園
三島駅 地下鉄三島京阪駅		地下鉄東山駅	仁王門通
川端通	東大路通	神西通	岡崎通 三条通



展覧会公式HP